

平成30年5月18日

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐藤 健太郎
(JASDAQ・コード 2321)
問合せ先 執行役員 IR・法務担当 五十嵐 達哉
電話 03-6550-9270

前期（平成30年3月期）における特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、下記のとおり、前期（平成30年3月期）において特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容

(1) 減損損失

第4四半期連結会計期間において、子会社株式会社AWE SOME JAPANののれんの評価を見直した結果、減損損失として、連結で180,615千円を計上しております。

(2) 投資有価証券評価損

第4四半期連結会計期間において、平成28年12月28日付で株式会社グッドスタイルカンパニー（以下、「グッドスタイルカンパニー社」といいます。）の株式の一部を株式会社美光に譲渡した際の株式譲渡代金の分割払いの残金の回収可能性に係る評価を見直した結果、投資有価証券評価損として、連結で211,764千円、個別で211,764千円を計上しております。また、当社が保有する株式会社ワールドスケープの株式に係る評価を見直した結果、投資有価証券評価損として、連結で4,179千円、個別で4,179千円を計上しております。

(3) 債務保証損失引当金繰入額

グッドスタイルカンパニー社は当社の子会社ではなくなっているものの、同社の株式会社静岡銀行からの借入の一部に対する当社の債務保証が残されており、グッドスタイルカンパニー社の財政状態や営業状態を勘案して、第4四半期連結会計期間において、債務保証損失引当金繰入額として、連結で306,870千円、個別で306,870千円を計上しております。

(4) 賃貸借契約解約損

平成30年4月19日付公表の「前期（平成30年3月期）における特別損失の発生に関するお知らせ」において、当社オフィスの余剰スペースに係る賃貸借契約の一部を平成30年4月末日付で解約することにより、引当金15百万円を計上する見込みであることを発表いたしました。精査した結果、第4四半期連結会計期間において、賃貸借契約解約損として連結で5,317千円、個別で5,317千円を計上することに変更いたしました。なお、平成30年5月以降の余剰スペース分の賃料・光熱費負担がなくなり、これによる平成30年5月以降の費用削減効果が月額約3百万円と見込まれ、当期の業績の改善に大きく貢献することとなる見通しであることに変更はございません。

2. 今後の見通し

上記の内容は、本日（平成30年5月18日）公表の「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上